

# WILCOMM

## 管理者用マニュアル

AS0002 (Last Update : 2002/6/19)

**WilComm AS400 V7.15**  
**© Copyright 2000**  
**K.I.S.S. Inc.**



## 目次

<u>オプション番号</u>	<u>ページ</u>
はじめに	3
前置きと概要	5
11. メッセージ・プレフィックス・メンテナンス	6
12. ユーザー・プロファイル・メンテナンス	7
13. システム設定メンテナンス	17
14. サービス詳細メンテナンス	19
15. メッセージ・ソースファイル作成	20
16. コントローラー・ユニット照会	21
17. サービス照会	22
18. モニター開始	25
19. モニター活動状況照会 (SUBSYSTEM WILPLEX)	26
20. モニター停止 (SUBSYSTEM WILPLEX)	27
21. WILPLEX エディター・特別機能メンテナンス	28
22. 世界時計メンテナンス	29
23. 検索テーブル・メンテナンス	31
24. WILPLEX ファイルの再構成	36
25. ユーザー定義オプション・メンテナンス	37

## 前置きと概要

当管理者マニュアルは、A S / 4 0 0 上で稼動するW i l C o m m S y s t e m の管理担当者を対象としています。当ガイドの項目を理解することにより、管理担当者はW i l C o m m S y s t e m の機能、各ユーザーのW i l C o m m の使用を管理・制御することが可能となります。

W i l C o m m は A S / 4 0 0 上で稼動するよう設計されたメッセージングシステムです。多様な情報伝達サービスにおける各種タイプのメッセージの準備、送信、受信、格納、検索を洗練された、しかも簡単な使用方法で提供します。

W i l C o m m は 次の 3 つの製品から構成されます。

- 1 . A S / 4 0 0 上でのW i l C o m m ソフトウェア
- 2 . A S / 4 0 0 にツイナックスケーブルで接続された、またはイーサネットを使用してL A N で接続されたW i l C o m m サーバー。このサーバーにはW i l C o m m の提供者により、お客様個々のデバイスとやり取りを行うボードがセットアップされます。

W i l C o m m サーバーでは同時に4つまでのデバイスが稼動できます。A S / 4 0 0 に接続するW i l C o m m サーバーの数に制限はありません。お客様の要求に合わせ構成の拡張が可能です。

- 3 . W i l C o m m サーバー用のソフトウェア ( C D で提供されます )

W i l C o m m サーバーはそれに接続されたデバイスとA S / 4 0 0 との情報のやり取りのインターフェースを行います。

お客様が必要とされるサービスに基づき、それに合ったサーバーのハードウェア・ボードとソフトウェア・モジュールが提供されます。

W i l C o m m 製品全体に関するドキュメントも提供されるパッケージの1つです。

W i l C o m m によりサポートされるデバイス、ネットワークは以下のものです。

- 1 . 自動ダイヤルモデム :
  - \* 同期A S C I I
  - \* 2 4 0 0、1 2 0 0、3 0 0 ボー
  - \* 自動回答

通常のネットワーク :

- 格納・転送サービス、メールボックスサービス、他
  - \* テレックスゲートウェイ ( 国内・海外テレックス )
  - \* メールボックス機能 ( ダイヤル受信・自動受信 )

ホスト間データ転送 . A S / 4 0 0 ・ システム 3 X 間、 A S / 4 0 0 ・ P C 間

## 2. ダイレクトテレックス接続

- \* コントローラーボックス内のスロットにはめ込まれたテレックスインターフェースボード経由
- \* RS232-Cシリアルポートでコントローラーボックスに接続されたスタンドアローンのテレックスインターフェースボックス経由

通常のネットワーク：

適用されるサービス：

- \* 国内
- \* 海外
- \* 専用線（半2重、全2重）
- \* テレグラム、ケーブル

## 3. FAX送信

- \* 完全な電子帳票統合機能の提供。バーコード、ロゴ、条件付出力

## 4. AS/400プリンター・LANプリンター印刷

- \* 完全な電子帳票統合機能の提供。バーコード、ロゴ、条件付出力

## 5. E-mailメッセ-ジング

- ・ POP3メールサーバーとのインターフェース
- ・ 完全な電子帳票統合機能の提供。バーコード、ロゴ、条件付出力
- ・ ファイルコンバージョンにおけるAdobe Acrobatの使用

WillCommの伝送機能は種々の方法により効率的な時間短縮、コスト削減を実現します。

- メッセージテキストの作成、変換に要する時間を短縮します。
- 国内、海外へのダイアリングを自動的に判別処理します。
- ネットワーク上のいかなる問題も明確に処理され、ユーザーに通知されません。
- ラインが送受信中の場合、新たにメッセージが準備され、この数に制限はありません。
- メッセージは回線使用料、または時差に応じて1日の特定時、または夜間に自動的に伝送されます。

WillCommの受信機能は、たんにメッセージの受信、印刷から特定のユーザーに宛てられたメッセージに対して一連のタスクを自動的に実行するといったマネージャーとしての機能（例：受信者にAS/400の警告メッセージ送ったり、受信者の個人用プリンターにメッセージを印刷する。）までサポートします。

伝送・受信機能は、全メッセージ履歴の監視・記録を行う管理機能、そして送受信メッセージのテキスト統合を維持する機密保護機能によりさらに拡張されます。

## はじめに

WilCommソフトウェアのAS/400へのセットアップに関しては、所定の導入マニュアルが用意されています

WilCommの管理機能にアクセスするためには、“GO WILPLEX”とタイプしエンターします。WilCommオペレーターメニューが表示されます。ここでオプションの60 - “アプリケーションコントロールメニュー”を選択しますと、管理者メニューが表示されます。

### 管理者、コントローラー機能

管理者メニューのオプションによりWilCommシステムのセットアップ、構成設定を行います。これらのオプションは、WilCommの管理担当者によって行われます。

各WilCommの機能は、管理者のユーザー設定によりそれぞれのユーザーに対し使用可、または使用不可となります。

注記： 選択可否のファンクションの1つとして“ユーザープロファイルメンテナンス”があります。管理者を除き、このオプションの使用権を与えるべきではありません。

管理者以外に“管理者オプション”のアクセス権を与える場合は、WilComm 管理者が対象のオプションに対し、“ユーザープロファイルメンテナンス”オプションより権限を与えます。

管理者用オプションが以下に表示されています。

WILCOMM	WILCOMM メッセージシステム	VSN: 6.50
次の中から1つを選んでください。		
11. メッセージ・プレフィックス・メンテナンス		
12. ユーザー・プロファイル・メンテナンス		
13. システム設定メンテナンス		
14. サービス詳細メンテナンス		
15. メッセージ・ソースファイル作成		
16. コントローラー・ユニット照会		
17. サービス照会		
18. モニター開始		
19. モニター活動状況照会 (SUBSYSTEM WILPLEX)		
20. モニター停止 (SUBSYSTEM WILPLEX)		
21. WILPLEX エディター・特別機能メンテナンス		
22. 世界時計メンテナンス		
23. 検索テーブル・メンテナンス		
24. WILPLEX ファイルの再構成		
25. ユーザー定義オプション・メンテナンス		
選択項目またはコマンド		
====>		
F3= 終了 F4= プロンプト F9= コマンドの複写 F12= 取消し		
F13= 援助情報 F16=AS/400 メイン・メニュー		

個々のオプションに関する説明がこのページ以降に説明されています。

## メニューオプション 11 - メッセージ・プレフィックス・メンテナンス

W i l C o m mは作成されるすべてのメッセージに名称を割り当てます。名称は、ここで設定される5桁(アルファベット)までのプレフィックスと5桁のサフィックス(数字)から構成されます。これにより各メッセージの作成元や順序に対して簡単なIDが提供されます。

このオプションは、メッセージプレフィックスの作成用に提供されています。メッセージプレフィックス作成時には、数字サフィックスの開始値をセットします。作成後、このプレフィックスを使用するユーザーによりメッセージが作成される毎に、サフィックスはシステムによりカウントアップされます。複数のユーザーで同一のプレフィックスを使用することも可能です。  
(例：特定部署の全てのスタッフが同一のプレフィックスを使用する。)

オプション 11 選択時、以下のようなスクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM - メッセージ プレフィックス メンテナンス	8:28PM 0/08/0
新規作成には、プレフィックス を入力 :		
プレフィックス/サフィックス 記述		
INC	00131 INC	
KAZ	10018 KAZ TANAKA MESSAGE PREFIX	
MSG	01720 WILPLEX MESSAGES	
NBA	00013 TEST	
NGO	00012 NAGAO-SAN	
2= 更新    4= 削除    F3= 終了    F12= 前画面		

新規にプレフィックスを登録、または既存のプレフィックスの更新時、以下のスクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM - メッセージ プレフィックス メンテナンス	8:30PM 0/08/01
メッセージ プレフィックス: KAZ		
メッセージ サフィックス : 10018		
DESCRIPTION: KAZ TANAKA MESSAGE PREFIX		
F3= 終了    F12= 前画面		

メッセージサフィックスの開始値は任意の数値ですが、通常“00001”を設定します。

## メニューオプション12 - ユーザープロファイル・メンテナンス

WilCommの各ユーザーに対しては、WilCommの使用を始める前にここでユーザープロファイルが登録されなければなりません。管理者はこのユーザープロファイルの設定によりWilCommの機能を各ユーザーの必要性に合わせる事が可能です。

オプション12選択時、以下のスクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM - 登録 ユーザ - メンテナンス	8:32PM 0/08/01		
新規 ユーザ - 作成には、 ユーザ - 名を入力 :				
ユーザ - 名称		TEL/エクステンション		
BVJ				
HIRO	HIROSHI MUNETO'S USER PROFILE			
KAZ	KAZ, 田中和弘			
KISS	KISS			
NABA	NABA			
NAGAO	NAGAO-SAN OF ILS			
NISHIBE	JU NISHIBE			
QSECOFR	QSECOFR, 機密保護管理者			
TEST				
WILPLEX	WILPLEX			
WILTEST				
1= 全て	2= 更新	3= 複写	4= 削除	5=オナーアクセス
6= 権限認可機能	7=メニュー 制御	9= 保留	0= 開放	
F3= 終了	F8=ユーザ - アドレス オフライン	メンテナンス	F12= 前画面	

### 新規にユーザーを登録する

1. オプション3により既存のユーザーより設定をコピーします。あるいは
2. スクリーン上部の入力項目に新規ユーザーのプロファイルを入力しエンターします。システムは“登録ユーザー・メンテナンス”各スクリーンを順番に表示します。AS/400上に存在するプロファイルのみWilCommで登録可能であることに注意して下さい。AS/400上に存在しないプロファイルはエラーとなります。

注意：新規ユーザー登録を2つの初期スクリーンで終了した後、残ったオプション(5=アクセス権限、6=ファンクション権限、7=メニュー制御)に関しての登録を忘れずに行ってください。登録が行われなかった場合、そのユーザーに対し各オプションの省略時値が適用されます。

注意：新規ユーザー登録をする際、名称は以下の通りに入力します。(メール使用の場合のみ)

Eメールのユーザー名(@マークの前)+カンマ+任意入力

ex. メールアドレス:wilcomm@kiss21.co.jp

名称:WILCOMM, ウィルコムユーザー

## ユーザープロフィール・メンテナンスのオプションの要約

<u>1 = 全て</u>	ユーザープロフィールの前に“ 1 ”を入力すると、オプション 2、5、6、7 の各オプションが順々に行われます。
<u>2 = 更新</u> <u>3 = 複写</u>	登録済みプロフィールを 2 つの初期スクリーンにおいて更新します。 登録済みプロフィールの前に“ 3 ”と入力することにより、その設定をコピーします。
<u>4 = 削除</u>	登録済みプロフィールの前に“ 4 ”と入力することにより、その設定が削除されます。
<u>5 = オーナーアクセス</u>	他のユーザーに所有されるメッセージに対するアクセス権を定義するには、プロフィールの前に“ 5 ”と入力します。
<u>6 = 権限認可機能</u>	プロフィールの前に“ 6 ”と入力しエンターすることにより、Wi l C ommファンクションの使用をそのユーザーに許可します。
<u>7 = メニュー制御</u>	プロフィールの前に“ 7 ”と入力しエンターすると、Wi l C ommで使用可能なメニューオプションのリストが表示されます。このスクリーンからユーザーにその使用を許可するオプションを選択します。
<u>9 = 保留</u>	プロフィールの前に“ 9 ”と入力することにより、一時的にそのユーザーがWi l C omm使用できないようにします。プロフィールの電話番号右前に“ 保留 ”と表示されます。
<u>0 = 開放</u>	保留されたユーザーのWi l C ommの再使用を許可します。

## ユーザープロフィール・メンテナンススクリーンの説明

### ユーザープロフィールオプション 1 = 全て

このオプションは全てのメンテナンスオプションの設定を表示・更新するときに便利です。プロフィールの前に“ 1 ”の入力しエンターすると、オプション 2、5、6、7 の設定スクリーンが順々に表示されます。



## ユーザープロファイルオプション2 = 更新

ユーザープロファイルの新規登録、既存プロファイルの更新時、以下のスクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM - 登録 ユーザーメンテナンス	8:42PM	0/08/01
			+++
ユーザー - NISHIBE	ユーザー名 : JU NISHIBE		
TEL/エクステンション	:		
WILCOMM 新規メッセージ作成時のプリフィクス	: MSG	(* -プリフィクス 選択 リスト	)
WILCOMMメッセージでの使用イテーター	:		
WILCOMM イテーター	.....	W	
OFFICE/400 イテーター	.....	O	
テキスト マネージメント イテーター	.....	T	
ソース エントリー ユーティリティ	.....	S	S
デフォルト ソース ファイル	:	WPXMSG	書き換え認可 (Y/N): N
ライブラリ:		WILPLEXCHG	
デフォルト オプター	:	QSECOFR	書き換え認可 (Y/N): Y
内部送信時の デフォルトユーザー	:		書き換え認可 (Y/N): Y
デフォルト ディレクター	:	*ALL	書き換え認可 (Y/N): Y
会社番号 キー			
メッセージ 待行列	:	NISHIBE	
ライブラリ:		QUSRSYS	

これらの値を設定後エンターすると2つの初期スクリーンの第2スクリーンが表示されます。

以下がこの第2スクリーンです。

NISHIBE	WILCOMM - 登録 ユーザーメンテナンス	8:43PM 0/08/01
ユーザー	NISHIBE ユーザー名 : JU NISHIBE	
ネットワーク送信時の最大優先度	(LOW 0 TO HIGH 5): 0	
メッセージの印刷時に使用する OVRPRTF コマンドのパラメータ設定	: OVRPRTF FILE(WPLEXPRT) +	
新規メッセージテキスト作成時に使用する スクリプトソースメンバー名	:	
メンバー	:	
ソースファイル	:	ライブラリ:
データー終了後、緊急メッセージ作成時アクションの設定	:	
題名、ノート、オサー、キーワード指定用のプロンプト	.. S	
アドレスプロンプトの表示	..... A	
プロンプト(内部送信詳細)表示	..... I S	
機密保護のためのパスワード	:	
グループセキュリティ用パスワード	:	(同一グループユーザーで共用されます)
WILCOMM データーデフォルトキーストロークサーバー	:	TABS:

以下に“登録ユーザー・メンテナンス”スクリーンの各項目の使用目的を説明します。

- |              |   |
|--------------|---|
| ユーザー名        | ユーザーの記述を登録します。AS/400に設定されているプロファイルの記述が省略時値となります。通常ユーザー名をフルネームで登録します。  |
| TEL/エクステンション | ユーザーの電話番号を登録します。オプション - 参照のみです。   |
| 使用エディター      | メッセージ作成・編集にどのエディターを使用するかを選択します。   |
| デフォルトソースファイル | ユーザーのメッセージが保存される物理ソースファイルを指定します。“書き換え認可”はYesかNoを指定します。Yesを指定した場合、新規メッセージが作成される都度省略値を承認・変更するかどうかのプロンプトが表示されます。 |
| デフォルトオサー     | メッセージの権利者として記録されるプロファイルです。省略時値は作成されるプロファイルと等しい値です。“書き換え認可”は通常Noと指定します。  |

#### 内部送信時デフォルトユーザー

内部メッセージが送信されるユーザーを指定します。通常ブランクのままです。“書き換え認可”は通常 Y e s とします。

#### デフォルトディレクトリー

使用者により通常使用されるディレクトリーを指定します。“書き換え認可”は通常 Y e s とします。

#### メッセージ待ち行列

使用するメッセージキューとそのライブラリーを指定します。

### 第2スクリーン

#### ネットワーク送信時の最大プライオリティー

メッセージ送信時このユーザーに許される最高の優先順位値を指定します。0が最低、5が最高の優先順位値です。

#### O V R P R T F コマンド

このユーザーのメッセージの印刷出力を制御するために使用されません。通常この項目に設定される値は：O U T Q ( Q G P L / Q P R I N T ) です。この値はオプションです。O U T Q のライブラリー名の指定は必須となります。

#### スケルトンソースメンバー

新規に作成されるメッセージのスケルトンとして使用されるテキストが保存されているメンバー名、ソースファイル、ライブラリー名を設定します。(この設定はオプションです。)このユーザーが最初にメッセージを作成する時、このスケルトンメンバーよりテキストが自動的にメッセージに挿入され、編集可能となります。この機能はサポートされる4つのエディター全てで有効です。

#### W i l C o m m エディター

“キーストロークセイバー”名、“タブセット”名を指定します。ユーザーがW i l C o m m のエディターを開始した時自動的にこの設定が使用されます。

#### ユーザープロファイルオプション3 = 複写

既存のプロファイルの前に“3”と入力し、エンターするとコピーのためのプロンプトスクリーンが表示されます。コピーによりプロファイル設定の全詳細、アクセス権、ファンクション使用権、メニューオプションが複写設定されます。基準値となるプロファイルを基にして、多くのプロファイルを登録する時に便利です。

オプション3選択時、以下のスクリーンが表示されます。

```
NISHIBE                WILCOMM - プロファイル 複写                9:17AM  0/08/02

                元 - 元 プロファイル      NISHIBE      先

F3= 終了      F12= 前画面
```

AS/400上に存在する新規のプロファイルを入力し、エンターすることによりコピー元から先のユーザープロファイルへ全ての設定がコピーされます。その後、記述や使用エディター、必要に応じ詳細の設定を変更します。

#### ユーザープロファイルオプション4 = 削除

プロファイルの前に“4”と入力し、エンターすることでWilCommよりその設定が削除されます。

#### ユーザープロファイルオプション5 = オーナーアクセス

WilComm内では全メッセージがユーザーにより所有されます。誰がどのメッセージにアクセスするかが厳しく管理されます。

この“アクセス権”オプションにより、管理者はどのメッセージを誰が参照するかを定義します。

登録ユーザーメンテナンススクリーンのプロファイルの前に“5”と入力し、エンターすると以下のスクリーンが表示されます。

```
NISHIBE                WILCOMM - 所有権限 メンテナンス                9:20AM  0/08/0
ユーザーアクセスのオーナー      NISHIBE      全ユーザーなら *ALL を入力      : *ALL
ユーザー -      記述                        TEL
BVJ
HIRO      HIROSHI MUNETO'S USER PROFILE
KAZ      KAZ, 田中和弘
KISS      KISS
NABA      NABA
WILPLEX      WILPLEX

1- 権限認可      *BLANK- 権限取消      F11= 全権限取消
F3= 終了      F12= 前画面
```

他のユーザーに所有されるメッセージへのアクセス権が与えられます。

### 特定ユーザーのメッセージへのアクセス

設定中のユーザーのアクセスを可能としたいユーザーの前に“ 1 ”と入力し、エンターします。ここで入力した“ 1 ”は再度このスクリーンを表示させた時、アクセスを許すユーザーを示すためにスクリーン上に再び表示されます。アクセス権を取り除くためには、ここで“ 1 ”をスペースに入力し直します。

現在“ 1 ”と指定されている全てのユーザーに対するアクセス権を取り除くためには、F 1 1 キーを使用します。F 1 1 キーを使用する時には、スクリーンをスクロールして全ての“ 1 ”指定を表示、確認を行ってください。

### 全ユーザーのメッセージへのアクセス

設定中のユーザーに他の全てのユーザーのメッセージへのアクセス権を与える場合、スクリーン上部の入力項目に“ \* A L L ”と入力します。ここで設定した“ \* A L L ”はこのスクリーンを再度呼び出した時、そのまま表示されます。この場合ユーザーの前には“ 1 ”と表示されないことに注意してください。全ユーザーへのアクセス権を取り消すためにはF 1 1 キーを押します。

### ユーザープロファイルオプション6 = 権限認可機能

このオプションにより各ユーザーに対し、W i l C o m mのどのオプションを使用可能にするかを設定します。設定中のユーザーが所有するメッセージ、そして他のユーザーに所有されるメッセージに対し別々に権限の設定が可能です。

権限を与える各ファンクションの前に“ Y ”と入力します。ユーザーがファンクションを実行できないようにするにはこれを空白のままとします。スクリーン上の3つのファンクションに対しては、“ V ”(表示のみ)、“ D ”(ディレクトリーアクセスのみ)といった制限されたアクセス権を与えられます。

登録ユーザーメンテナンスにおいてユーザー名の前に“ 6 ”と入力すると、以下のスクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM - 機能認可	9:28AM	0/08/02
ユーザー - NISHIBE	名称 : JUN NISHIBE		
メッセージに適用される機能		認可	
		当ユーザー 所有メッセージ	他ユーザー 所有メッセージ アクセス可能
作成 :		Y	
メッセージパスワードセキュリティの変更 :			
編集 / 表示 (V = 表示のみ) :		Y	V
変更 :		Y	
アドレス (D = ディレクトリ-アドレッシング / ミ) :		Y	
ネットワーク送信 (保留 / 開放含む) :		Y	
内部送信 :		Y	
複写 :		Y	
削除 :		Y	
受信回送 / 表示 (V = 表示のみ) :		Y	Y
		(ブランク = 非認可 / Y = 認可)	
F3= 終了	F12= 前画面		

上のスクリーンは新規ユーザー登録時の各項目の省略時値を示しています。これらは単に省略時値であり、変更・更新が可能です。

注記：他のユーザーの所有するメッセージへのアクセス権は、そのメッセージの所有者により制限されます。この制限は登録ユーザーメンテナンススクリーンにおけるオプション5で行われます。

## ユーザープロファイルオプション7 = メニューコントロール

WilCommでは、各ユーザーに対してそれぞれ個別のメニューを設定可能です。ユーザーの前に“7”と入力し、エンターすると以下のスクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM - メニュー 制御	9:31AM	0/08/02
ユーザー名	: NISHIBE		
メニュー オプション 記述			
1	新規メッセージの作成		
1	メッセージ・リストの表示		
1	ディレクトリー照会		
1	ディレクトリー・メンテナンス		
1	WILPLEX ユーザーへの AS/400 メッセージ送信		
1	世界時計		
1	クイック・メッセージ表示		
1	メッセージ・プレフィックス・メンテナンス		
1	ユーザー・プロファイル・メンテナンス		
1	システム設定メンテナンス		
1	サービス詳細メンテナンス		
1	メッセージ・ソースファイル作成		
1	コントローラー・ユニット照会		
1	サービス照会		
1	モニター開始		
1	モニター活動状況照会 (SUBSYSTEM WILPLEX)		+
1=メニューオプション 選択      F3= 終了      F11=フォールト      F12= 前画面			

改ページキーを使用すると、メニューオプションの次ページ分が表示されます。

NISHIBE	WILCOMM - メニュー 制御	9:31AM	0/08/02
ユーザー名	: NISHIBE		
メニュー オプション 記述			
1	モニター停止 (SUBSYSTEM WILPLEX)		
1	WILPLEX エディター・特別機能メンテナンス		
1	世界時計メンテナンス		
1	検索テーブル・メンテナンス		
1	WILPLEX ファイルの再構成		
1	ユーザー定義オプション・メンテナンス		
1=メニューオプション 選択      F3= 終了      F11=フォールト      F12= 前画面			

設定中のユーザーにメニューオプションの使用権を与えるには、その前に“1”と入力します。このユーザーがサインオンした時、ここで設定したメニューオプションのみがスクリーン上に表示されま

す。

この個別設定可能なメニュー機能は、W i l C o m mの重要機能に対するアクセスへの簡易的な制限を可能とします。例：通常、管理者はオプション 1 2 - “ ユーザープロファイル・メンテナンス ” の使用権を他のユーザーへは与えません。

#### ファンクションを制限したメニューのサンプル

ユーザーがオプション 1、2、5、6 に対してのみ使用権限を所有する場合、サインオン時のメニューは以下ようになります。

WILCOMM	WILCOMM メッセージシステム	VSN: 6.50
次の中から 1 つを選んでください。		
1. 新規メッセージの作成		
2. メッセージ・リストの表示		
5. WILPLEX ユーザーへの AS/400 メッセージ送信		
6. 世界時計		
選択項目またはコマンド		
====>		
F3= 終了    F4= プロンプト    F9= コマンドの複写    F12= 取消し		
F13= 援助情報    F16=AS/400 メイン・メニュー		

#### ユーザープロファイルオプション 9 = 保留

ユーザーの前に “ 9 ” と入力し、エンターすることによりそのユーザーがW i l C o m mを使用できないようにします。“ G O W I L C O M M ” のコマンドを実行してもエラーとなります。

#### ユーザープロファイルオプション 0 = 開放

“ H O L D ” されたユーザーの前に “ 0 ” と入力し、エンターすることでそのユーザーのW I L C o m mの使用を再度可能にします。



## メニューオプション 13 - システム設定メンテナンス

システム値はW i l C o m m使用開始時に設定されなければならないグローバルパラメータです。  
このオプション選択時、以下のスクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM システム 設定 メンテナンス	0/08/0
		+++
WILCOMM システム 用 メッセージ 行列	メッセージ	
メッセージ 行列 :	WILPLEX	
メッセージ 行列 ライブラリ :	WILPLEX	
メッセージ 行列 :		
メッセージ 行列 ライブラリ :		
メッセージ 行列 :		
メッセージ 行列 ライブラリ :		
メッセージ 行列 :		
メッセージ 行列 ライブラリ :		
新規受信 サービス の際の初期値		
ソースファイル :	WPXMSG	
ソースファイル ライブラリ :	WILPLEXCHG	
オーナー :	QSECOFR	
メッセージ プリフィックス:	MSG	
ネットワーク 送信用の パラメータ		
定刻 メッセージ 送信のための時間 レンジ	:	FROM 18:00 TO 6:00 (HH:MM, 24 時間時制 )
後刻 メッセージ 送信のための標準待ち時間	:	0:30 (HH:MM)
F3= 終了 F12= 前画面		

このスクリーンでエンターするとシステム値設定用の第2スクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM システム 設定 メンテナンス	0/08/02
		+++
世界時計における ローカル 時間設定の基本となる都市名	:	JAPAN
自動開始される検索 テーブル	:	
受信時 :	TEST2	
配信時 :		
中止時 :	CANCEL	
F3= 終了 F12= 前画面		

スクリーン上の項目の設定に必要な情報は以下に説明してあります。

## W i l C o m mシステム用メッセージ行列

これらのメッセージキューには、W i l C o m mの使用に関する特定の情報、そしてエラーメッセージが送られます。通常、Q S Y S O P Rまたは、上位管理者のキューにメッセージが送られます。メッセージはここで設定した4つまでのキューそれぞれに対して送られます。

### 新規受信サービスの際の期値

のちに新しいタイプのネットワークサービスがC - B o xに追加される場合、W i l C o m mのホストシステムはこの新たなラインに関するメッセージをどのように処理するかを認識する必要があります。そこで、このサービスに対する特定値が提供されるまで、ここで設定された省略時値を使用することになります。

ソースファイル	受信メッセージが保存されるソースファイルを定義します。
ソースファイルライブラリー	上記ソースファイルが存在するライブラリーを定義します。
オーナー	このサービスで受信されたメッセージの省略時の所有者を定義します。通常メッセージ管理者が登録されます。
メッセージプレフィックス	受信したメッセージに割り当てられるプレフィックスを定義します。

### ネットワーク送信用のパラメーター

定刻指定のメッセージを何時に送信するかを設定します。後刻指定に対しては何分後といった省略時値を設定します。

### 都市名

W i l C o m m世界時計機能を使用するために、使用者がどこに位置するかを設定します。使用者のタイムゾーンを基準に世界各国の時間が決定されます。使用者の都市名、また同一タイムゾーンの都市に関しては、当マニュアルの世界時計の章を参照して下さい。

### 自動開始される検索テーブル

受信、送信、中止メッセージ個々に適用される主要（1番目の）検索テーブルの名称を入力します。適用させたい追加の検索テーブルがある場合、それらは1番目の検索テーブルより、“\$”アクションコードを使用して呼び出されます。

受信、送信、中止メッセージに対して検索を行いたくない場合は、個々のパラメーターをブランクのままにしておくことが必要です。こうすることによってW i l C o m mが、不必要な検索処理を行わないようにします。

## メニューオプション 14 - サービス詳細メンテナンス

サービス詳細の設定において特定のサービスを経由して受信したメッセージをどのように処理するかを定義します。

```

NISHIBE          WILCOMM - サービス 詳細 メンテナンス          10:14AM  0/08/02
                                     ソースファイル   ライブ ラリー   オーナー   プリフィクス
                                     新規 サービス   : WPXMSG     WILPLEXCHG QSECOFR   MSG
サービスコード 及び名称
WM DISTRIBUTOR SERVICE          MESSAGES     WILPLEXD   QSECOFR   INC

2= 更新      5= 表示      F3= 終了   F5=リフレッシュ   F12= 前画面
    
```

表示・更新モードでサービスを選択すると以下のようなスクリーンが表示されます。

```

NISHIBE          WILCOMM - サービス 詳細 メンテナンス          10:15AM  0/08/02

サービス : WM E-MAIL - THE "WILMAIL" SERVICE          VIA WILCOMM

受信時
ソースファイル   :          MESSAGES
ライブ ラリー:          WILPLEXD
オーナー   :          QSECOFR
メッセージ プリフィクス:          INC

メッセージ 印刷機能
メッセージ 印刷をしない ..... フラッシュ
テキスト 印刷のみ ..... 1
テキスト 及び ヘッダ - 印刷 ..... 2
テキスト 及び システム 詳細の印刷 ..... 3   受信   :
                                           送信   :

オーバープリントファイル パラメータ
受信   : OVRPTRF FILE(WPLEXPRT)

送信   : OVRPRTF FILE(WPLEXPRT)

F3= 終了   F12= 前画面
    
```

上記スクリーンにおいて受信メッセージの保管・所有権に関する定義を行います。

また、受信・送信メッセージをどのプリンターに印刷出力するのかに関しての詳細を定義します。

注記： 所有者の項目にスペシャル値” \* C B O X ”を指定した場合、各受信メッセージは C - B O X により決定されます。詳細に関しては、C - B O X ユーザーマニュアルを参照してください。

## メニューオプション15 - メッセージソースファイル作成

W i l C o m mのメッセージは通常、物理ソースファイルのメンバーとして保管されます。このオプションはメッセージを保管するソースファイルを作成するために提供されています。必要であれば、各ユーザーに対して個別のメッセージ保管用ファイルを作成できます。

```

                ソース物理ファイル作成 (CRTSRCPF)

    選択項目を入力して、実行キーを押してください。

    ファイル . . . . .                  名前
    ライブラリー . . . . . *CURLIB      名前 , *CURLIB
    レコード長 . . . . . > 210         数値
    テキスト ' 記述 ' . . . . . > 'WILCOMM MESSAGES'

                追加のパラメーター

    権限 . . . . . > *ALL              名前 , *LIBCRTAUT, *ALL...

                                                    終了
    F3= 終了   F4=プロンプト   F5= 最新表示   F12= 取消し   F13= この画面の使用法
    F24= キーの続き
```

作成したいファイル名、ファイルが作成されるライブラリー名を指定します。テキスト記述には、のファイルに保管される内容を示す記述を入力します。

レコード長は省略時値として81桁で、始めの12桁はW i l C o m mにより内部的に使用され、残り69桁がデータテキストとして使用されます。ネットワークによってはデータ長が69桁までしかサポートされないため、81桁が推奨値となっています。データ長が69桁しかサポートされないネットワークとしてt e l e xがあります。

## メニューオプション16 - コントローラーユニット照会

このコントローラーユニットの照会機能により”C - B o x”と呼ばれるコントローラーユニットに関する情報が確認できます。

NISHIBE	WILCOMM - 制御 ユニット 照会	10:26AM	0/08/02
コントローラーコード 及び名称	最終開始日・時	ジョブ	
2 Z W ケツ C ナ行	2/02/98 17:41:08	WP105	ACTIVE
4=シャットダウン 5= 表示 F3= 終了 F5=リフレッシュ F11=フォールト F12= 前画面			

コントローラーコードと名称は単にC - B o xの記述です。たいていのシステムはC - B o xを1つだけ備えています。2つ以上のC - B o xが存在する場合、この記述によりそれぞれを判別します。

F 1 1 = フォールト度キーによりプリンターの情報が表示されます。この情報はC - B o xに直接プリンターが接続されている場合に有効となります。通常C - Boxには、プリンターは接続されていませんが、メッセージの履歴管理のために接続されているケースがあります。プリンターはA S / 4 0 0用のプリンターではなく、C - B o xに直接接続されているP C用プリンターです。

開始日・時刻はC - B o xの最終開始日及び時刻です。ジョブ はC - B o xが最後に開始されたときに割り当てられたものです。

### 5 = 表示 - コントローラーユニットの状況表示

コントローラー名の前に“ 5 ”と入力しエンターすることにより、システムは1 2のオプションからなるジョブメニューを表示します。各オプションによりC - B o xとのインターフェースを行うジョブに関する種々の情報が参照されます。

### 4 = シャットダウン - C - B o xの終了

コントローラーコードの前に“ 4 ”と入力し、エンターすることによりC - B o xが終了します。この処理はジョブの取り消しに等しく、正常にC - B o xが終了します。処理中の受信・送信メッセージは、C - B o xの終了前に処理されます。

またC - B o xは、当管理者マニュアルの後半で説明されているメニューオプションより、“WilComm”サブシステムを終了することにより処理が停止します。この方法、または”ENDSBS”コマンドを手入力してC - B o xを終了する場合、“\*immed”オプションではなく、必ず“\*cntrl d”を使用して下さい。

W P T R M D R VコマンドもC - B o xを停止する時に使用されますが、この使用方法に関してはプログラマーズガイドを参照して下さい。

注記： C - B o xを緊急に停止する必要がある時は、たんに電源を切ることもできますが、この場合は必ずメッセージが受信中ではないことを確認して下さい。メッセージが送信中であった場合は、C - B o xを再度開始した時にW i l C o m mが自動的に再送信を行います。

## メニューオプション17 - サービスの照会

サービス照会機能により、WilCommのC-Boxがサポートする種々のサービスを照会することができます。これらのサービスの詳細を変更する場合、C-Boxの構成プログラムによりC-Box実行時に使用するディスクを変更する必要があります。この分野に関しては、C-Boxユーザーマニュアルを参照して下さい。

照会スクリーンには、お客様の注文に応じWilCommのサプライヤーより提供されたサービスのみが表示されます。このため以下に示されるスクリーンは、各お客様サイト毎に異なります。サービスとは、個々のネットワークにおける特定の機能です。多くのネットワークでは複数のサービスが機能しています。WilCommは、複数のネットワークにおいて複数のサービスを同時にサポートします。

ネットワークの例としては、ファックス、テレックス, Vitel, GE's, Quik-Comm, Easylink, Dialcom, Telemail, TRT, 他があります。テレックスネットワークにおけるサービスの例としては、インターナショナルテレックスがあります。

ネットワーク個々の詳細な情報に関しては、WilCommドキュメントのネットワークサービスマニュアルを参照して下さい。

サービスの照会オプションを選択すると以下のスクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM - サービス 照会	10:32AM	0/08/02
サービス・コード	サービス 名称	サービス・コード	サービス 名称
WD	DISTRIBUTOR SERVICE		
WF	FAX - THE "WILFAX" SERVICE		
WM	E-MAIL - THE "WILMAIL" SERVICE		
WP	PRINT - THE "WILPRINT" SERVICE		
1=サービス・データ      F3= 終了      F5= 再表示      F12= 前画面			

要求するサービスの前に"1"入力し、エンターします。

エンター後、次ページにあるようなスクリーンが表示されます。

以下がサービス照会スクリーンです。

NISHIBE	WILCOMM - サービス照会	10:36AM	0/08/02
サービスコード :	WD		
第一記述 :	DISTRIBUTOR SERVICE		
第二記述 :	VIA WILCOMM		
メッセージ送付の日付		メッセージ送付の時刻	
メッセージ番号は	インターフェイス	から生成されます	(日付が変わるとリセットされる)
予約語	置換語		
1			
2			
3			
4			
5			
パラメータ 名称		T M/O MIN. MAX. デフォルト 値	
1 入力不要 実行キーを打鍵 ....	A	0 0 1	
F3= 終了	F11= 入力可能値の表示	F5=リフレッシュ	F12= 前画面

上のスクリーン上の全ての値は、C - B o x が立ち上げられた時、C - B o x ソフトウェアによって定義され、A S / 4 0 0 にアップロードされます。必要であればこれらの値は、C - B o x の構成メニューより変更可能です。詳細については、C - B o x ユーザーマニュアルを参照して下さい。

### 予約語と置換文字

このサービスで送信される全メッセージに関して、ここに示される予約語が検索されます。このどれかが検索された場合、このテーブルにより置換文字に変換されます。こういった変換が必要とされる理由は、ネットワークにおいて特定の語句は命令として捉えられ、テキストデータに内包して送信されてしまうと正しい処理が行われない可能性があるからです。

### パラメーター

このサービスコードで使用されるパラメーターです。このサービスでメッセージを正しく処理するために、その詳細をここで定義します。次に、上記スクリーンで示されている省略表示された見出しに関して説明します。

名称	記述、入力可能値
T	タイプ ; A か N (英字 o r 数字)
M/O	M か O (必須 o r オプション)
Min	許容される最小長
Max	許容される最大長
Default Value	省略時値の適用。許容値のリストがサポートされています。

## 受信メッセージの詳細

受信メッセージは以下の情報を基に処理されます。

ソースファイル	メッセージが保存されるソースファイルです。
ソースファイルライブラリー	上記ソースファイルが存在するライブラリーです。
オーナー	メッセージの所有者です。
メッセージプレフィックス	メッセージに割り当てられるプレフィックスです。



## メニューオプション 18 - モニター開始

このオプションは、モニター（監視）プログラムを開始します。このプログラムは“WilComm”という独立したサブシステムで起動します。このサブシステム、監視プログラムはC - B o xを開始した時、自動的に開始されますので、通常このオプション 18 を実行する必要はありません。

監視プログラムはA S / 4 0 0 とC - B O X間の全ての送信・受信メッセージを対象とします。ユーザーがW i l C o m mを使用しているとき、またはC - B o xが起動しているとき監視プログラムは常に起動しています。だいたいの環境において監視プログラムは常に起動しています。

このW i l C o m m監視プログラムは、A S / 4 0 0の資源にできるだけ負荷をかけないように設計されています。通常、対話式ジョブより低い優先順位で実行されます。

注記： C - B o x停止時、処理すべきタスクがない場合には監視プログラムは自動的に停止します。

メニューオプション19 - モニター活動状況照会

サブシステムW i l C o m mの活動状況を表示します。A S / 4 0 0とC - B o x間の送受信メッセージを処理するために起動していなければならないモニター（監視）ジョブの状況をチェックするために使用されます。

サブシステム・ジョブの処理						S103GWMM
						00/08/02 11:02:30
サブシステム . . . . . : WILPLEX						
オプションを入力して、実行キーを押してください。						
2= 変更 3= 保留 4= 終了 5= 処理 6= 解放 7= メッセージの表示						
8= スプール・ファイルの処理 13= 切断						
OPT	ジョブ	ユーザー	タイプ	-----	状況 -----	機能
	BODY	WILPLEX	BATCH		ACTIVE	CMD-WCPOLL
	DEMOFAX	WILPLEX	BATCH		ACTIVE	CMD-WCPOLL
	DEMOMAIL	WILPLEX	BATCH		ACTIVE	CMD-WCPOLL
	DROPINS	WILPLEX	BATCH		ACTIVE	CMD-WCPOLL
	KAZ	WILPLEX	BATCH		ACTIVE	CMD-WCPOLL
	MONITOR	WILPLEX	BATCH		ACTIVE	PGM-MONITOR
	NABA	WILPLEX	BATCH		ACTIVE	CMD-WCPOLL
	PDF	WILPLEX	BATCH		ACTIVE	CMD-WCPOLL
						続く ...
パラメーターまたはコマンド						
===>						
F3= 終了 F4=プロンプト F5= 最新表示 F9=コマンド の複写						
F11=スケジュールデータの表示 F12= 取消し						

## メニューオプション 20 - モニター停止

このオプションは、モニター（監視）ジョブとそのサブシステム内で起動している全てのジョブを終了します。

監視プログラムは、C - B o x を停止した時自動的に停止しますので、通常このオプション 20 を使用する必要はありません。使用する必要がある場合は、必ず"\*CNTRLD"オプションを使用して下さい。"\*IMMED"オプションを使用すると送受信中のメッセージは正しく処理されません。

## メニューオプション21 - WilCommエディター特殊機能メンテナンス

このオプションで、当ソフトウェアで提供されているWilCommエディター用のKEYSTROKE SAVERSとTAB FORMATSを設定します。

KEYSTROKE SAVERSとTAB FORMATSの作成、変更に関するの詳細は、WilCommエディターユーザーズガイドを参照してください。

## メニューオプション 2 2 - 世界時計メンテナンス

このオプションは世界時計機能用のもので、都市設定の追加、変更を行います。

以下のスクリーンが表示されます。

NISHIBE		WILCOMM 都市 メンテナンス		11:06AM 0/08/02	
実行 キ- で新規都市作成		都市名称 :			
都市名	時刻	夏時間			
	ゾーン	日付	長さ	(MM/DD)	
ADELAIDE	9:30	10/25	3/05		
AMSTERDAM	1:00	3/28	9/26		
ATHENS	2:00	3/28	10/10		
ATLANTA	5:00 -	4/25	9/31		
AUCKLAND	12:00	10/25	3/05		
BAHRAIN	3:00				
BANGKOK	7:00				
BEIRUT	2:00				
BELGRADE	1:00	3/28	9/26		
BERLIN	1:00	3/28	9/26		
BOGOTA	5:00 -				
BOMBAY	5:30				
BONN	1:00	3/28	9/26		
BOSTON	5:00 -	4/25	9/31		
BRASILIA	3:00 -				
BRISBANE	10:00	10/29	3/15		
BUDAPEST	1:00				
BUENOS AIRES	3:00 -				
2= 更新 4= 削除		F3= 終了		F12= 前画面	

新規に都市を追加するためには、スクリーン上部のフィールドに追加したい都市名を入力し、変更を行うには都市名の前に“ 2 ”を入力します。

都市設定の追加、変更時には以下のスクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM 都市 メンテナンス	11:08AM 0/08/02
都市名 :	ADELAIDE	
タイムゾーン :	9:30 (グリニッジ 標準時からの オフセット 時間 参考例 : ニューヨーク ... 5:00 - ロンドン ..... 0:00 東京 ..... 9:00 )	
夏時間		
開始日 ( 月 / 日 ) :	10/25	
終了日 ( 月 / 日 ) :	3/05	
	( 夏時間の適用がなければ ブランク にして下さい )	

設定を削除するためには、都市名の前に “ 4 ” を入力します。

## メニューオプション 2 3 - 検索テーブルメンテナンス

### メッセージ検索 - 始めに

ウィルコムは、送信、受信、中止しメッセージにおけるユーザー定義データの存在を自動的に検索・関連処理を開始する機能があります。

例えば、特定の人物に宛てられた受信メッセージをチェックし、メッセージの所有権を割り当て、A S / 4 0 0 のメッセージによってメッセージの着信を通知します。

この検索機能により、メッセージ処理とデータ処理との統合が可能となります。

メッセージが送受信、または中止された時は随時、そのメッセージに対し、“W i l C o m m システム 設定メンテナンス” で指定された検索テーブルによる処理が行われます。

注記： 処理を正常に行うために “W i l C o m m システム 設定メンテナンス” において検索テーブルの指定を正しく行ってください。

### 検索テーブルメンテナンス

オプション 2 3 の検索テーブルメンテナンス機能により、検索テーブルの追加、更新、削除が行われます。以下のスクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM - 検索 テーブル メンテナンス	11:11AM	0/08/02
新規 テーブル 作成には、テーブル 名を入力 :			
テーブル	記述		
CANCEL	CANCEL		システム 値
JUN	JUN		
TEST2	TEST2		システム 値
2= 更新    3= 複写    4= 削除    F3= 終了    F12= 前画面			
F3= 終了    F5= 入力項目短縮    F8=カ-ル の後に挿入    F12= 前画面			

#### 新規テーブルの追加：

新規テーブル入力欄に追加したい検索テーブルの名称を入力します。

#### 既存テーブルの更新：

更新を行いたい既存のテーブル名称の前に“ 2 ”を入力します。

#### テーブルの複写：

複写したいテーブルの前に“ 3 ”を入力、エンターし、複写先のテーブル名称を入力します。

#### テーブルの削除：

削除したいテーブルの前に“ 4 ”を入力します。

追加、更新、削除機能は以下のスクリーンにおいて行われます。

NISHIBE	WILCOMM - 検索 テーブル メンテナンス	11:12AM	0/08/02
検索 テーブル:	CANCEL		
タイプ: T	開始 / 終了行: 1 999	開始 / 終了桁: 1 999	ワイルド:
検索 内容	アクション	パラメータ	
A	M	KAZ	1
	¥		2
F3= 終了	F5= 入力項目短縮	F8=カーソル の後に挿入	F12= 前画面

#### F 5 = 入力項目短縮

F 5 キーを押すことにより、検索テーブルにおけるスペースが除去されます。注記：この機能は検索テーブルメンテナンスを終了するとき随時実行されます。

#### F 8 = カーソルの後に挿入

F 8 キーを押すことにより、現在のカーソル位置の後ろに検索テーブルの入力ラインが 10 ライン追加されます。新規に検索の詳細情報を挿入するときこのキーを使用します。挿入された 10 ラインの内、使用されなかったラインはこの機能終了時に除去されます。

#### R o l l u p

ロールアップキーを押すことにより、最終ライン以降に新規に検索情報設定用のラインが追加されます。

#### 見出しレベルの定義

##### タイプ

メッセージに対する検索対象を定義します。使用可能な値は以下のとおりです。

- K - キーワード
- N - ノートパッド及びサブジェクト
- R - 参照：ダイアル、サブスクライバーの詳細
- S - サービスコード
- T - テキスト
- ブランク - 上記の全て

注記： “ ? ” を入力することにより、上記の値のリストを参照することができます。



### 開始/終了行

検索対象とするメッセージテキストの開始、終了行を入力します。 注記：この設定は、テキスト検索においてのみ有効となります。

### 開始/終了桁

指定された行のどの桁を検索対象とするかを定義します。 注記：この設定は、テキスト検索においてのみ有効となります。

### ワイルド

この検索テーブルにおけるワイルド文字を定義します。検索内容におけるワイルド文字に相当する位置の内容は、いかなる値でも許容されることとなります。

### 検索の詳細レベル

#### 検索内容（変数）

検索したいデータを定義します。自由に検索したい文字列を定義できます。

個々のアクションコード、パラメーターと共に無数の検索内容（変数）を定義することができます。WilCommは検索範囲において、まず1番目の変数を検索、なければ2番目のものというように全ての変数に対し検索を行い、変数と同じ文字列が検索されたとき、その変数に定義されたアクションが実行されます。

#### アクションコード・パラメーター

アクションコードとそれに関連するパラメーターは以下のとおりです。

<u>アクションコード</u>	<u>ファンクション</u>	<u>パラメーター</u>
C	コピー	ユーザー
D	削除	
E	実行	プログラム名
L	ロード	S、/N、/K、/とテキスト
M	メッセージ	ユーザー、*PRV、*OWNER
O	オーナー	ユーザー
P	印刷	ユーザー、*PRV、*OWNER
R	リルート	サブスクライバー名
S	送信	ユーザー
\$	開始/終了	終了にはブランク、開始にはテーブル名

以下に個々のファンクションの説明を行います。

#### “C” - コピー

メッセージはパラメーターで指定されたユーザーにコピーされます。

#### “D” - 削除

メッセージを削除します。使用時には注意が必要です。

## “ E ” - 実行

パラメーターで指定されたプログラムを実行します。プログラムには以下のパラメーターが渡せれます。

- 1)           メッセージ名 ( 10桁)
  - 2)           ソースファイル名 ( 10桁)
  - 3)           ソースファイルライブラリー ( 10桁)
  - 4)           検索タイプ ( 1桁)
- 注記： 使用可能な検索タイプは次のものです。

T - 送信  
C - 中止  
I - 受信

## “ L ” - ロード

パラメーターに指定された値に基づき、サブジェクト、ノートパッド、キーワードをロードします。パラメーターの様式は以下のとおりです。“XXXXXXXXXXXX”はテキストです。

サブジェクト：     S、XXXXXXXXXXXX     - メッセージサブジェクトをロード  
                  S、XXXXXXXXXXXX     - 初期化後メッセージサブジェクトをロード

ノートパッド：    N、XXXXXXXXXXXX     - メッセージノートパッドをロード  
                  N、XXXXXXXXXXXX     - 初期化後メッセージノートパッドをロード

キーワード：     K、XXXXXXXXXXXX     - メッセージキーワードをロード  
                  K、XXXXXXXXXXXX     - 初期化後メッセージキーワードをロード

注記： S、N、Kとカンマの間に空白が指定されているとき、ロードの前に関連フィールドが初期化されます。

## “ M ” - メッセージ

パラメーター値に基づきメッセージキューにシステムメッセージが送信されます。使用可能なパラメーターは以下のものです。

ユーザー       指定されたユーザーメッセージキューにメッセージが送信されます。

\* OWNER       メッセージの所有者にメッセージが送信されます。

\* PRV         新規にメッセージが作成されるC、S、Rのアクションコードの後に使用します。  
              新規に作成されたメッセージが印刷されます。

## “ O ” - 所有者

パラメーター値として定義されたユーザーにメッセージの所有者が変更されます。

### “ P ” - 印刷

メッセージが印刷されます。パラメーターにより印刷装置、出力キューが決定します。

ユーザー ユーザープロファイルに指定された印刷装置が使用されます。

\* OWNER メッセージ所有者のユーザープロファイルに指定された印刷装置が使用されます。

\* PRV \* PRV 新規にメッセージが作成される C、S、R のアクションコードの後に使用します。新規に作成されたメッセージが所有者のユーザープロファイルに基づき印刷されます。

### “ R ” - リルート

他のサブスクライバーへのメッセージの転送を行います。あるネットワークまたはサービスからのメッセージを、別のネットワークまたはサービスへ転送します。AS/400 がメッセージスイッチのように動作します。必要なパラメーターは Wi l C o m m ディレクトリーにおける転送先のサブスクライバー名です。

### “ S ” - 送信

メッセージのコピーがパラメーターに指定されたユーザーに送信されます。

### “ \$ ” - 終了/開始

次の 2 つの機能を行います。

まず、終了機能：

パラメーターがブランクであった場合、この時点でメッセージ検索が終了します。

次に、開始機能：

パラメーターに分岐したい検索テーブル名を指定します。現在のメッセージに対してここで指定されたテーブルにより処理が行われます。その後処理は前テーブルの分岐後の行より処理を続行します。

### “ 開始 ” 機能使用例

ひとつの検索テーブルに膨大な行を定義する代わりに、第 1 番目のテーブルより複数の検索テーブルの処理を行うことができます。これにより検索テーブルのメンテナンスが容易になります。

## メニューオプション 24 - W I L P L E Xファイルの再構成

このオプションはメッセージ量により 1 ~ 4 週間おきに実行します。

## メニューオプション 25 - ユーザー定義オプションメンテナンス

メッセージリストの表示オプションにおいて処理を行うユーザー定義の機能オプションを定義します。この定義はユーザー個々に、あるいは共通のものとして定義できます。

この章では管理者がどのようにユーザー定義オプション、ファンクションキー機能を作成するかを説明します。オプションとしては、A～Zの英字、特殊文字とF13～F24までのファンクションキーを使用できます。

### ユーザー定義オプションメンテナンス

このメンテナンスを行うためには、メニューオプションの25を選択します。

(このオプションはメッセージリストの表示スクリーンより、F9 = ユーザーオプション、続いてF7 = ユーザーオプションメンテナンスを押しても実行できます。ただし、メニューオプションの25 - ユーザー定義オプションメンテナンスに対する使用権限が与えられていることが前提となります。)

上記2つの方法により、以下のスクリーンが表示されます。

```
NISHIBE          WILCOMM - ユーザー定義オプションメンテナンス          11:16AM  0/08/02
 新規オプション作成には、オプションコード入力      :
OPT ユーザー      記述
  *ALL             CMD KEY 13 - "E-MAIL" STYLE ADDRESSING
  *ALL             CMD KEY 18 - STOP ALL MESSAGES FROM BLINKING
  *ALL             CMD KEY 21 -
A  *ALL            <アドレッシング詳細>
B  *ALL            <BROADCAST LIST>

2= 更新    4= 削除    F13-24=ファンクションキーメンテナンス
F3= 終了   F12= 前画面
```

ここでメッセージリストの表示機能において使用する全てのユーザー定義オプション、ファンクションキーのメンテナンスを行います。

#### 新規オプションコードの追加

新規オプション入力欄に英字または特殊文字でオプションコードを入力します。

注記： コードは重複して定義可能であり、これにより同一のコードで個々のユーザーにより異なった処理を行うことも可能になっています。

### 新規ファンクションキーの追加

F 1 3 ~ F 2 4 キーを押すことによりファンクションキー機能を定義します。

### 既存のオプション/ファンクション機能の更新

既存のオプション/ファンクションキーの前に “ 2 ” を入力し変更を行います。

### 既存のオプション/ファンクション機能の削除

既存のオプション/ファンクションキーの前に “ 4 ” を入力することにより削除を行います。

追加、更新、削除を行うときには次のスクリーンが表示されます。

NISHIBE	WILCOMM - ユーザ - 定義 オプション メンテナンス	11:17AM	0/08/02
ユーザ-オプション:	CMD KEY 13 - "E-MAIL" STYLE ADDRESSING		
ユーザ -	*ALL		
オプション への権限	Y/N:	Y	
ローカル/ 受信 メッセージ のみ	L/I:		
実行する ユーザ-プログラム :	AK05		
	*LIBL		
記述	:	CMD KEY 13 - "E-MAIL" STYLE ADDRESSING	
F3= 終了	F12= 前画面		

以下に各項目の説明を行います。

### ユーザー :

オプション/ファンクションキーを使用できるWilCommユーザーを指定します。

\* ALLの指定により全ユーザーに使用権が与えられます。

### オプションへの権限Y/N

Yの指定によりファンクションの実行が許可され、Nの指定によりファンクションの指定が禁止されます。

多様な設定を可能にしています。

以下に例をあげます。

<u>オプション</u>	<u>ユーザー</u>	<u>権限</u>	<u>プログラム</u>	<u>ファンクション</u>
A	B I L L	Y	P G M X 1	ユーザー定義プログラム X 1
A	H A R R Y	N		
A	* A L L	Y	P G M X	ユーザー定義プログラム X

ユーザー定義オプション実行時には、ユーザー名権限指定の定義がまず検索され、次に共通権限（\* A L L）の定義が検索されます。

この方式により、オプションの実行に関する多様な設定を可能にしています。

上の例では、ユーザー B I L L はオプション “ A ” に対して権限を持っており、メッセージ の前に “ A ” を入力することにより、プログラム P G M X 1 が実行されます。ユーザー H A R R Y もオプション “ A ” に対する設定は所有していますが、この実行は許されていません。他の全ユーザーは共通使用オプション “ A ” の使用、これによるプログラム P G M X の実行が許可されています。

#### ローカル/受信メッセージのみ L / I

この設定によりローカル、受信メッセージ個々に対するオプション/ファンクションキーの使用を制限することができます。

ブランクは、制限がかけられていないことを意味します。

#### 実行するユーザープログラム

このオプション/ファンクションキーが押されたときに実行されるユーザー定義のプログラム名とそのプログラムが存在するライブラリーを指定します。入力時、指定されたライブラリーにプログラムが存在するかのチェックが行われます。\* S I G N O F F と指定した場合、このオプション/ファンクションキーの使用により端末がサインオフされます。

#### 記述

記述の入力は必須となっています。

注記： ファンクションキーの定義時、最初の 6 桁は自動的に定義されます。この 6 桁を変更してしまいますと、どのキーに対する定義かが分からなくなりますので、記述の入力は 6 桁以降に行ってください。

#### 実行するユーザー定義プログラム

この章では、ユーザー定義オプション/ファンクションキーによって実行されるプログラムに関する情報を提供しています。

ユーザー定義オプションの使用により、以下のパラメーター値がプログラムに渡されます。

- 1 . メッセージリストで指定されたオプション。(長さ = 1 桁、タイプ = 英字)
- 2 . メッセージリストタイプ：このパラメーターは、ローカルメッセージか、受信メッセージかを区別します。( “ 0 ” = ローカル、 “ 1 ” = 受信)
- 3 . メッセージ名：メッセージリストから選択されたメッセージの名称。(長さ = 1 0 桁、タイプ = 英字)

ユーザー定義ファンクションキーの使用により、以下のパラメーター値がプログラムに渡されます。

- 1 . メッセージリストで使用されたファンクションキーを示す 16 進数。ファンクション 13 - 24 は、それぞれ 16 進数の B 1、B 2、B 3、B 4、B 5、B 6、B 7、B 8、B 9、B A、B B、B C で示されます。(長さ = 1 桁、タイプ = 英字)
- 2 . メッセージリストタイプ：このパラメーターは、ローカルメッセージか、受信メッセージかを区別します。(“ 0 ” = ローカル、“ 1 ” = 受信)

注記：ファンクションキーの使用はメッセージを指定して行われるものではないので、メッセージ名は渡されません。